

[施策名 ⑤積算の合理化]

官庁営繕部営繕計画課

営繕積算における市場単価方式の拡大

[建設省等9省庁]

○ 施策の概要、進捗状況、継続性

(概要)

建築工事において、工事標準歩掛りによる複合単価方式から市場単価方式への移行可能工種について検討を行い、さらに試行を通じて妥当性を確認し、市場単価として本施行していく。また、移行工種について、毎年拡大を図っていく。

(進捗状況、継続性)

平成10年度下半期の試行を踏まえて、5工種（型枠、鉄筋加工組立、防水、屋内配管、ダクト）について平成11年度から本施行した。さらに、平成11年度下半期の試行を踏まえて、追加5工種（コンクリート打設手間、コンクリートポンプ圧送、鉄筋ガス圧接、ケーブルラック・位置ボックス、衛生器具取付け）について平成12年度から本施行する。今後も引き続き、市場単価方式の移行追加工種の拡大に取り組んでいく。

○ 施策の効果

発注者としては、移行可能な工種について市場単価方式に移行していくことで、工事標準歩掛りの整備や見直しに要する多大な労力と時間を省くことが可能となるため、積算の効率化が図られると同時に、市場の変化に迅速に対応することが可能となり、積算の機動性が向上することとなる。

一方受注者としても、時々の市場の動向に応じた他社を含めた取引実態が把握でき、また発注者が予定価格作成に使用する単価を知ることができるため、入札価格や設計変更額の検討に際し、労力と時間の節約が図られる。

○イメージ図

